

北竜町データヘルス計画 中間評価

令和2年度実施

令和 3年 3月

北竜町 住民課 国保医療係

第1章 北竜町データヘルス計画の中間評価について

1. 中間評価の趣旨

北竜町では、厚生労働省が定めた「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、「健康寿命の延伸と医療費・介護費の伸びの抑制」を目的として、特定健康診査データや診療情報明細書（以下「レセプト」という。）等の分析を利用し、平成30年度から令和5年度までを計画期間とする「北竜町データヘルス計画」及び「北竜町特定健康診査等実施計画」を策定しています。

策定の理由として、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、重要政策として“国民の健康寿命の延伸”を掲げています。

これを実現するため、健康保持増進の事業計画として「北竜町データヘルス計画」及び「北竜町特定健康診査等実施計画」を作成、公表、事業実施、評価等の取組を行っております。

計画策定初年度（平成30年度）に国民健康保険制度が改正し、都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体となりましたが、町民と身近な関係の中で行われる保健事業等の事務は、これまでどおり保険者（北竜町）が行うこととされており、北竜町の健康保持・増進を図る保健事業や医療費適正化等に対する取組に対して、新たなインセンティブ（保険者努力支援制度）が創設されるなど、保健事業の重要性も高まってきています。

令和5年度の目標達成に向けて、北竜町では生活習慣病や疾病予防、特定健診や特定保健指導の実施等、さまざまな保健事業を実施しておりますが、今後も効果的かつ効率的な保健事業を推進するため、今年度、これまでの取組を分析・評価し、中間評価を行います。

2. 中間評価の目的

本計画が計画のとおり遂行しているかを確認し、計画が滞っている場合は、事業効果の改善策等を検討し、目標達成に向け方向性を見出します。

中間評価はデータヘルス計画を構成する保健事業計画に基づいて、実施された事業の実績等を振り返り、計画の目的・目標の達成状況・指標の在り方について、データ分析等をもとに整理、評価を行います。

評価の結果、目標達成が困難と見込まれる事業は、課題や目標達成を阻害する要

因を分析し、改善方法を検討の上、必要に応じて実施内容等の見直しを行います。

3. 中間評価の考え方と実施方法

本計画を構成する各保健事業計画に関する成功要因・未達成要因を踏まえ、本計画全体のアウトプット・アウトカムの実績値の推移の確認及び成功要因・未達成要因を整理します。

この中間評価は、平成30年度に策定したデータヘルス計画の重点課題について、中間年である令和2年度において、直近3年間の実績を把握・評価を行い、令和5年度までの目標値の修正や改善を行います。

○計画期間について○

～H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5
北竜町データヘルス計画及び 北竜町特定健康診査等実施計画						
			中間 評価			評価・ 次期計画 策定

○評価について○

・特定健診の実績値の評価について

目標値の達成度について、以下の定義に従い、A～Cの3段階に区分します。

A：目標を達成している。

B：目標には届かなかったが改善が見られる。

C：改善が見られない。

・特定保健指導の実績値の評価について

目標値の達成度について、以下の定義に従い、A～Cの3段階に区分します。

A：実施目標を達成している。

B：実施目標には届かなかったが実施した。

C：実施しなかった。

なお、実績値の目標を達成しているが、目標達成していないが、事業量や事業との関連で達成できうる場合は、追記で記載し、今後の評価改善に向けて対応します。

○改善について○

各目標値について、ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの4つの視点の評価を実施します。

※1 ストラクチャー 計画立案・実施構成・評価体制を指します。

計画の目的・目標を達成するための仕組みや体制を意味する。

(例：検査等の健診結果の変化等)

プロセス

保健事業の実施過程を指します。

計画策定手順のことを意味する。

(例：健診受診率、保健指導の継続率等)

アウトプット

保健事業の実施状況・実施量を指します。

計画に記載した事業の実施状況に関すること。

(例：保健指導実施者の記録状況、対象者の満足度等)

アウトカム

成果を指します。

計画を実施することにより目指す目標・目的のこと。

(例：職員の体制、予算、施設・設備の状況、他機関との連携体制等)

第2章 特定健診・特定保健指導の状況及び取組の評価、これからの保健事業について

北竜町のデータヘルス計画を以下、別紙の通りに評価し報告します。

	H30年 北竜町データヘルス計画における健康課題	現在
1	女性の平均寿命と健康寿命の差が平均より長い	最近もほぼ同じ 自立期間も平均寿命も平均より高い
2	健診受診率は高いが低下傾向にある	年によって違うが、H28年よりは増加している。
3	問診：喫煙、運動習慣、1日飲酒量が平均より悪い	変化なし 同じく課題である
4	血糖、高血圧の有所見割合が高い	年によって違うが、高血圧は平均かそれ以下。血糖は毎年高い
5	1人あたり診療費が高く、外来が特に高い	外来費は高いが、入院費は平均以下なことが多く、理想となっている。
6	医療費上位を占める疾患に生活習慣病が多い	変わらず。
7	介護給付費が高く、また認定者の有病率が高い	変わらず高い。有病率は特に心疾患がだんとつ高い。次に骨関節・糖尿

計画の目標・実績の洗い出し ※現状の健康課題を整理。

	(H30～R1) 北竜町の健康課題(KDBより)	目的	中長期の目標
I	健診受診者で脂質異常症の割合が高い	疾病、障害、死亡について健康格差を縮小する。	虚血性心疾患罹患患者数を減らす
II	特定健診において、血糖値が基準値以上となる方の割合が高い		
III	血糖値と脂質検査値がともに基準値以上となる者の割合が高い		脳血管疾患罹患患者数を減らす
IV	喫煙者の割合が高く、血管障害を招く一因となっている		
V	一人あたり医療費において、入院費の伸び率が高く、一人あたり総医療費が高額である		糖尿病性腎症罹患患者数を減らす
VI	糖尿病・関節疾患により介護が必要になる方が多い		
VII	40～50歳代の特定健診受診率が低く、早期からの生活習慣病予防や診療につながらない		一人あたり医療費において、外来費を伸ばし入院費を抑制する
VIII	介護給付費が高額である		

計画の目標・実績の洗い出し

	R5年に向けた目標	目標値	初期値 (\wedge -)	今まで				中間評価 (目標)	目標値		最終評価
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
1	生活習慣病の発症を予防する。	①R5年度特定健診受診率を60%にする	54.10%	50.30%	57.80%	56.10%	57	58	59	60	
		②R5年度特定保健指導実施率を60%にする	54.20%	57.90%	73.30%	51.90%	57	58	59	60	
		③R5年度メタボリックシンドローム該当者数率を国平均の17%前後に維持する	13.10%	14.50%	21%	16.40%	17%	17%	17%	17%	
2	特定健診を利用し、生活習慣病のコントロールができる。	①R5年度特定健診受診者数の糖尿病有所見者の割合を10%減らす	1.60%	0.90%	2%	1.8%	1.70%	1.60%	1.50%	1.40%	
		②R5年度特定健診受診者数の血圧有所見者の割合の現状維持	5.6%	5.7%	5.6%	4.4%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%	
		③R5年度特定健診受診者数の脂質異常症の割合を10%減らす	27.5%	30.4%	27.0%	26.5%	26.0%	25.5%	25.5%	25.0%	
3	生活習慣病の重症化を予防する	①糖尿病性腎症による人口透析患者数を0人に抑制する。	新規患者数 0人	0	0	0	0	0	0	0	

短期目標番号	目標達成に向けた重点的な事業				実績値					データヘルス計画・個別保健事業計画を合わせ、4つの指標についての評価				事業全体の評価	
	事業名	事業目標	評価指標	目標値(R2)	H28ベースライン	H29	H30	R1	評価	評価指標以外の実績	ストラクチャー	プロセス	アウトプット		アウトカム
1	特定健診	生活習慣病の早期発見と、要介護状態の予防のために、生活習慣の見直しを行うことにより健康の保持・増進を図る	受診率	57%	54.10%	50.30%	57.80%	56.10%	B 未達成だが、あと少人数の勧奨により達成できる。	<p>○特定健診の受診の場の拡大として、がん検診と特定健診の無料セット健診(ミニドック)を深川市立病院にて開始した。</p> <p>○受診時の検査情報や事業所での健診結果提供の依頼を行い、受診率の向上につながった。</p>	<p>○特定健診の受診体制として、料金を無料にし、またがん検診と同時実施とし、受診しやすい体制の確保に努めた。</p> <p>○人員配置について、町内の巡回検診では、保健指導係4名、国保係1名で従事し、人員・予算ともに問題なく希望者全員が受診できた。また深川市立病院での人間ドック、ミニドック同時受診を委託しており受診機会の確保につながった。</p> <p>○特定健診受診の場として、町内での巡回検診を4日間、深川市立病院で年度内の後半期5ヶ月間にわたって実施。また農協組合員は旭川厚生巡回ドックで1日間同時受診が可能。特定健診に関するアンケートには、かかりつけ医受診が出来たら良い、という意見が多く、現在の回数に加え、かかりつけ医との連携も視野に受診機会の増加をはかる必要がある。</p> <p>○町内の診療所や近隣医療機関に対し特定健診の情報提供体制を整えることで、受診率の向上がねえると考え、R5年に向けた課題とする。</p>	<p>○第2期計画立案においては、未受診者対策として受診対象者にアンケート調査を実施した。またKDBの情報分析により、我が町の健康課題に関する傾向について分析し、目標設定を実施した。</p> <p>○特定健診の周知は、4月にチラシの全戸配布と、医療費通知同封として年数回、町のホームページで紹介するが、新規受診者数は少なく、未受診者、新規対象者への個別通知や電話勧奨などの新たな策が必要と考える。</p> <p>○健診会場では、待ち時間なく受診できるよう予約体制や適切な人員配置をし、受診体制に関する苦情もなく実施できている。</p> <p>○未受診者に対する情報収集はH29のアンケート以降できていないこともあり、受診勧奨を重ねる中で未受診理由や解決案などの蓄積を行う。</p>	<p>○国保加入者数減とともに年々受診者数は減少しているが、国保加入者自体の減少による受診率は目標値付近で推移できている。</p> <p>○情報提供があった方に対し、継続提供のよびかけを行っていないため、今後も情報提供の依頼を続けていく。</p>	<p>○結果は右表のとおり。アウトカムが受診率しか設定していないため、健診結果の変化や課題である若年層に限った受診率についてのアウトカムについて検討が必要である。</p>	<p>・目標値に近い受診率があり、今後も受診勧奨や情報提供の定着を目指す。</p> <p>・若年層の受診率がその年にもよるが低い傾向がみられる。生活習慣病改善は若い時から行うことにより意義も高いため受診勧奨の仕方を工夫し、若年層を受診につなげていく。</p>
2	特定保健指導	対象者が、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続できるよう関わることで、対象者の健康の保持増進を図る	特定保健指導実施率	57%	54.20%	57.90%	73.30%	51.90%	A R1はコロナの影響もあり低下したが、H29、30は目標達成。対象人数も少なく、今後も工夫をし実施率をあげていきたい。	<p>○対象人数も多くなく、特定保健指導希望者への指導や、特定保健指導の受相勧奨も行え、実施率も高かった。</p> <p>○委託先である深川市立病院とは、健診受診に対する連携は問題ないが、健診後に行う指導内容や気になる人などの情報交換不足が続いた。病院の健診受診体制も厳しさがあり、十分な保健指導は行えていない状況が続いているため、ドック受診後は必要に応じ住民への保健指導を行う。</p>	<p>○実施率は目標値を超えることもあるが、対象者が男性であることもあり、継続して取り組める方は少なくなかった。</p> <p>○個人へ保健指導のあと、人によっては受けた説明内容のフィードバックや、次回面接予約のとりくさがある。アンケートなども駆使して、結果をどのように受け止めたかや、次回評価日の了承を得られるようツールを検討していく。</p> <p>○毎年対象者となるが、指導・受診につながらないケースについて、予約の段階でリスト化し、当日の初回面接の機会をなんとか持てるよう準備をしていた。結局拒否はあるが、貴重な面接機会として今後も続けていく。</p>	<p>○健診時期が春である場合、評価時期には体重がかなり増えている方も多く、継続して取り組める方は少なかった。</p> <p>○個々により目指す所は違うこともあり、特定保健指導の効果や評価指標の共通化が難しさがあった。今後も指導に対する全体評価としての指標について検討していきたい。</p>	<p>○結果は右表のとおり。アウトカムが受診率しか設定していないため、指導前後の変化に着目したアウトカムについて検討が必要である。</p>	<p>・目標値に近い受診率があり、今後も受診勧奨や情報提供の定着を目指す。</p> <p>・特定保健指導の効果について評価ができていないが、まずは指導前後のデータ収集、分析を今後の課題とする。</p>	

第3章 中間評価より見えてきた今後の取り組み

重点的な保健事業の改善点や工夫

○未受診者への受診勧奨が不十分であるため、今後、年代層をしばった個別通知や、電話勧奨、町内での健康教育などの場面での受診勧奨を続ける。

○受診者が「自分に必要な健診だ」という実感を持ち、継続受診してもらえるよう、受診会場の工夫を続け受診のしやすさを確保するとともに、生活習慣病予防が必要な方には本人の生活にあった適切な情報の提供を続けていく。

○今回受診率のみの目標となっており、受診者の行動変容やその後の値の改善状況については目標値がない状態である。KDBからは経年的に脂質異常症の割合が高く、また健診結果上糖尿病予備軍の割合も高いことがわかったこと、また高血圧のⅠ度程度の方への保健指導の機会が少ないことを日頃から感じていることもあるため、検査結果の脂質異常症、血糖有所見者、高血圧Ⅰ度以上の割合の減少または維持を目標に加え、生活習慣病重症化予防の重要性について保健指導や健康教育を続けていきたい。

データヘルス計画の目標達成に向けた今後の保健事業の方向性

○受診率の低迷をふせぐため、年齢層をしばった集中的な受診勧奨を行う。また医療受診者や事業所での健診受診者には継続して受診結果の提供を依頼し、情報提供の定着を目指す。

○保健指導内容について、係内でよりわかりやすく、的確な指導ができるよう、ケースの相談を行う。個人に関する情報共有をしながら保健指導を行う。

○重症化予防のため、ハイリスク者の名簿管理を行い、効果的に保健指導ができる体制をつくる。

○特定保健指導実施者に対して、実施率だけでなく、改善効果や、対象者となる人の問診項目からの共通課題など、より全体的な評価を行えるよう、評価内容について検討する。
適切な評価を行い、特定保健指導内容の吟味を続ける。

データヘルス計画の目標および目標値の見直し

目標項目の追加

※「計画の目標・実績の洗い出し」の通り目標値を追加する。

最終評価に向けた見直し・工夫

○上記今後の保健事業の方向性にむけた内容について、事業の中で実施を目指す。

- ・受診勧奨として、若年層の未受診者には個別に通知か電話でのアプローチを行う。
- ・健診・医療受診者における情報提供の依頼について、周知を続けるとともに、継続して提供してもらえるよう勧奨する。
- ・ハイリスク者、毎回特定保健指導対象となる者のリスト化、係内での情報共有をはかる。
- ・特定保健指導結果に対する全体評価ができるよう、評価内容の検討を行う。

次期計画では検討が必要な課題

○成人歯科検診における、認知度や健診受診率などの評価

○特定健診結果提供に関して、町立診療所をはじめとする管内かかりつけ医との情報提供体制の構築

第4章 総括

今回行った中間評価は、評価結果及び成功要因・未達成要因をもとに、目標の達成状況を確認し、評価を行いました。

本中間評価を行う際に令和元年度（令和2年1、2月）頃に発生した、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問を控えるや健診の勧奨、実施が危ぶまれ目標達成に向けた推進活動が、厳しい状況下となりましたが、目標達成に近い結果となりました。また新型コロナウイルス感染症による自粛等で新たな健康課題を多く感じることができました。

今後計画後半の目標値達成に向けて、各関係機関と連携し、課題を共有しながら、本計画目標達成に向けて体制構築をしてまいります。

現在74歳以下の国民健康保険被保険者を対象としていますが、これから高齢者を迎える世代へ保健事業の推進を行うとともに、令和6年度までに実施することを目指している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施にかかる事業」を推進していく中で、成人期における疾病予防から高齢期に介護予防までを視野にいれた関わりを、事業の中で展開していきたいと考えております。被保険者の心身の多様な課題に対応し、支援についても努めてまいります。

参考資料他

平成30年度分 特定健診・特定保健指導 実績報告データ受領書

令和 1年10月28日
社会保険診療報酬支払基金

保険者：00011163 北竜町（国民健康保険） 御中

総アークイブ数	1	
受付件数	特定健康診査	247
	特定保健指導	26
	集計情報	17
	合計	290

平成31年度分 特定健診・特定保健指導実績報告データ受領書

令和 2年10月30日
社会保険診療報酬支払基金

保険者: 00011103 北音町 (国民健康保険) 御中

総一カイク数	1	
受付件数	特定健康診査	226
	特定保健指導	21
	集計情報	17
	合計	264

令和2年度 保険者努力支援制度（市町村分）分析資料

都道府県名	北海道
市町村名	北竜町
被保険者数 (R01.6.1現在)	574 人

1. 総合実績

	満点	北竜町	(得点率)	北海道	(得点率)	全国	(得点率)
合計得点	995 点	612 点	61.5%	537.21 点	54.0%	555.30 点	55.8%
順位（都道府県内・全国）	(都道府県内)	61 /	179 位	(全国)	518 /	1,741 位	

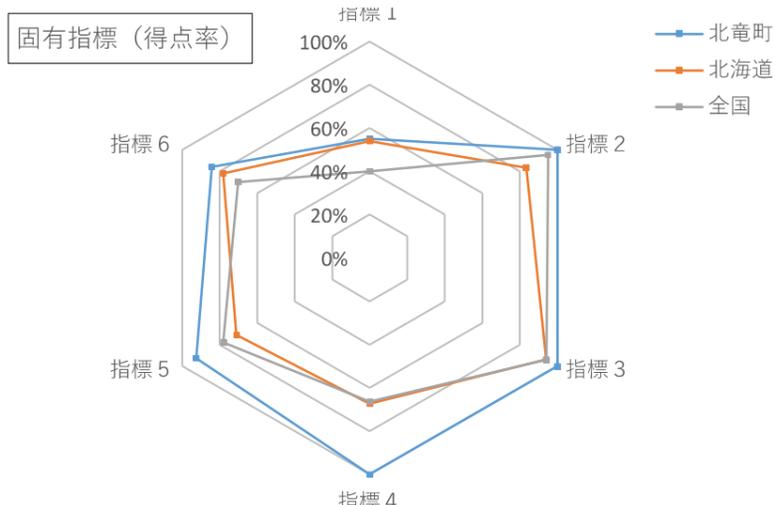
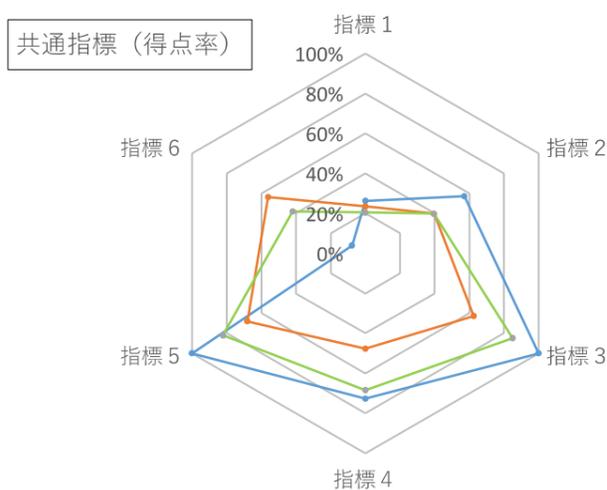
2. 共通指標の実績

	満点	北竜町	(得点率)	北海道	(得点率)	全国	(得点率)
指標 1 特定健診受診率・特定保健指導実施率 ・メタボ該当者及び予備群の減少率	190	50 点	26.3%	44.59 点	23.5%	38.75 点	20.4%
指標 2 がん検診受診率・歯周疾患（病）検診受診率	70	40 点	57.1%	27.72 点	39.6%	27.69 点	39.6%
指標 3 糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況	120	120 点	100.0%	75.08 点	62.6%	101.93 点	84.9%
指標 4 個人インセンティブ・分かりやすい情報提供	110	80 点	72.7%	52.49 点	47.7%	75.36 点	68.5%
指標 5 重複服薬者に対する取組の実施状況	50	50 点	100.0%	34.02 点	68.0%	41.07 点	82.1%
指標 6 後発医薬品の促進の取組・使用割合	130	10 点	7.7%	73.06 点	56.2%	54.56 点	42.0%
合計	670	350 点	52.2%	306.96 点	45.8%	339.35 点	50.6%

3. 固有指標の実績

	配点	北竜町	(得点率)	北海道	(得点率)	全国	(得点率)
指標 1 収納率向上に関する取組の実施状況	100	55 点	55.0%	53.99 点	54.0%	40.02 点	40.0%
指標 2 データヘルス計画策定状況	40	40 点	100.0%	33.34 点	83.4%	38.02 点	95.0%
指標 3 医療費通知の取組の実施状況	25	25 点	100.0%	23.49 点	94.0%	23.52 点	94.1%
指標 4 地域包括ケア推進の取組の実施状況	25	25 点	100.0%	16.84 点	67.4%	16.59 点	66.4%
指標 5 第三者求償の取組の実施状況	40	37 点	92.5%	28.41 点	71.0%	31.21 点	78.0%
指標 6 適正かつ健全な事業運営の実施状況	95	80 点	84.2%	74.17 点	78.1%	66.59 点	70.1%
合計	325	262 点	80.6%	230.26 点	70.8%	215.95 点	66.4%

※得点率は、各指標の満点に対して占める割合である。



今後の課題

【参考】国で算定に用いた数値

項目	北竜町	全国	項目	北竜町	全国
特定健診受診率(H29実績)	50.22%	37.16%	がん検診平均受診率(H29実績)	15.43%	11.57%
特定健診受診率の向上(H28→H29)	-3.97%	0.60%	がん検診平均受診率の向上(H28→H29)	-3.05%	-0.37%
特定保健指導受診率(H29実績)	55.56%	25.56%	がん検診受診率(胃がん)(H29実績)	18.88%	8.59%
特定保健指導受診率の向上(H28→H29)	1.39%	0.89%	がん検診受診率(肺がん)(H29実績)	7.95%	7.39%
メタボリック減少率(H29実績)	19.99%	-0.77%	がん検診受診率(大腸がん)(H29実績)	6.22%	8.36%
メタボリック減少率の向上(H28→H29)	2.54%	-2.04%	がん検診受診率(子宮頸がん)(H29実績)	18.76%	16.18%
後発医薬品使用割合(H30実績)	64.82%	77.84%	がん検診受診率(乳がん)(H29実績)	25.35%	17.35%
後発医薬品使用割合の向上(H29→H30)	1.92%	4.14%			